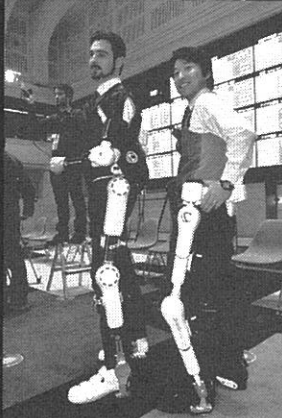


【マネー最新潮流】

「訪日外国人」「ロボット」「水素エネ」

の3テーマに注目せよ



上から順に浅草を訪れる訪日外国人、CYBERDYNEのHAL、トヨタのMIRAI



「官製不況」にも「日経平均乱高下」にも負けない

2015年爆騰期待株15

相場格言に「ひつじ辛抱」という言葉がある。未年は全体的に盛り上がり欠ける年になるケースが多いことからそういわれる。が、そんな年でも爆騰する株はある。お宝銘柄を発掘した。

2015年は「円安↓物価高↓実質賃金減↓さらなる円安……」というスパイラルが加速し、国民の家計はますます苦しくなる可能性が高い。本誌前号(15年1月1日・9日号)で指摘した通り、この恐怖のスパイラルをもたらしたのは安倍首相と黒田東彦・日銀総裁の「アベクロコンビ」だ。日本国民は「官製不況」の煮え湯を飲まされている。投資はそんな時代の生活防衛手段の1つだ。とはい

え、ほぼどんな銘柄を買っても値が上がった昨年と15年は様相が大きく変わる。日銀の14年12月の全国企業短期経済観測調査(短観)では、大企業・製造業の景況感が2四半期ぶりに悪化したように、企業の景気見通しも必ずしも明るくない。そんな中で儲けるためには、たとえ日経平均株価が乱高下しても左右されない成長力を持つ「強い銘柄」を選択する目が重要になる。そこで注目されるのが「テ

投資のプロ3人が厳選!

2015年大注目の3テーマ×5銘柄

	企業名(市場/コード)	株価 (単元株数)	目標株価 (期待上昇値)	企業概要とポイント
西堀敬氏注目 訪日外国人関連銘柄	コム兵 (東証2部/2780)	3575円 (100株)	5000円 (約40%)	名古屋を本拠にブランド品中古買取販売を行なう。免税販売が好調。今後はより高級な商品も取り扱う予定で、ブランド好きのアジア人観光客取り込みに期待
	レアジョブ (マザーズ/6096)	2760円 (100株)	4000円 (約45%)	オンライン英会話サービス最大手。ネット無料通話ソフト「スカイプ」を使ってフィリピン講師に遠隔で学ぶ。五輪にともなう訪日客増に向け国や企業から需要大
	日本ビューホテル (東証2部/6097)	1240円 (100株)	2200円 (約80%)	本州各地で「ビューホテル」を運営。外国人観光客を取り込み売り上げ増。民事再生法申請から再建し12年に再生債務完済。15年4月期は営業利益4割増
	ワイヤレスゲート (マザーズ/9419)	2965円 (100株)	5000円 (約70%)	空港などで契約し、駅やカフェなどでインターネットを利用できる「ワイヤレスゲートWi-Fi」が収益基盤。他にもプリペイドSIMカードなど、訪日客向け商品に注力
	日本空港ビルデング (東証1部/9706)	4905円 (100株)	7000円 (約45%)	羽田空港ターミナルビルを運営。賃料収入、羽田・成田での直営店運営収入が柱。中国・台湾からの観光客増で売り上げ好調。発着枠拡大でさらなる伸びも
鈴木一之氏注目 ロボット関連銘柄	菊池製作所 (JASDAQ/3444)	1681円 (100株)	2500円 (約50%)	板金、成形や金型開発に強み。介護現場で介助者が使用するロボット「マッスルスーツ」などの装着型ロボットを手がける。同製品は経産省の補助事業に採用された
	ハーモニックドライブ・システムズ (JASDAQ/6324)	1628円 (100株)	2100円 (約30%)	産業用ロボットの必須機構である減速装置が主力。特に関節部分は世界的に高いシェアを占める。中国での積極的な設備投資が業績向上に寄与
	安川電機 (東証1部/6506)	1586円 (100株)	2000円 (約25%)	産業用ロボットの累計販売台数で世界トップ。野菜を全自動で育てる「植物工場」の生産設備システムを16年度から国内外で販売する予定
	ファナック (東証1部/6954)	2万145円 (100株)	2万4200円 (約20%)	工作機械をコンピュータ制御する装置で世界トップ。スマホを加工する小型工作機械「ロボドリル」も好調。15年3月期業績予想を上方修正し、売上高、利益とも過去最高に
	CYBERDYNE (マザーズ/7779)	3050円 (100株)	4600円 (約50%)	筑波大学発のベンチャー企業。介護向け装着型ロボットスーツ「HAL」の開発で注目される。介護保険制度の見直しで介護ロボットの市場が広がる期待も
田代昌之氏注目 水素エネルギー関連銘柄	第一稀元素化学工業 (東証2部/4082)	4920円 (100株)	7000円 (約40%)	自動車排ガス浄化用触媒の首位メーカー。燃料電池に使用されるインジウム化合物を手がける。中国をはじめアジアでの成長にも期待
	愛知製鋼 (東証1部/5482)	412円 (1000株)	900円 (約120%)	トヨタグループの自動車向け特殊鋼大手。燃料電池車「MIRAI」に高圧水素用ステンレス鋼の供給を行なっている。PBR1倍を割り込んでおり割安
	加地テック (東証2部/6391)	399円 (1000株)	1000円 (約150%)	丸紅の関連会社。特殊高圧圧縮機が強み。水素ステーション向け圧縮機の研究実績が豊富で、3か所分を受注済み。受注拡大を視野に商品のコンパクト化を進める
	宮入バルブ製作所 (東証2部/6495)	109円 (100株)	700円 (約540%)	LPガス容器用バルブの製造大手。今後需要増が見込まれる水素ステーション用のバルブの市場開拓を狙う。1万円強で買える超低位銘柄のため、買いやすい
	シナネン (東証1部/8132)	442円 (1000株)	700円 (約60%)	主にLPガス、灯油を取り扱う燃料商社。経産省の水素・燃料電池実証プロジェクトへの参加経験から、水素供給インフラ整備のノウハウを持つ。PBR0.63倍と割安

※株価は12月25日終値。テーマごとに証券コード順。

円安と少子高齢化を逆手に取る

15年も円安が進み1ドル140〜150円の超円安まで考えられる。庶民の生活には逆況だが、逆手にとって投資に活かすことで打撃を相殺できる。

投資情報サイト「東京IPO」編集長の西堀敬氏は、「円安進行に伴って加速する『訪

日マ株」だ。13年は太陽光関連、14年はミクシイをはじめとするゲーム関連銘柄が急騰したように、マーケットはテーマ性の高い銘柄に資金が集中する傾向がある。そこを見極め、さらにその中でも成長性が高い銘柄をいち早く見つけることが成功のカギだ。

今回、株のプロ3人が3つの注目テーマから関連銘柄を各5つ、計15銘柄を厳選し、表にまとめた。

1月13日ごろ 全国書店・ コンビニなどで 発売!!



週刊ポスト増刊

年金 介護 高齢者住宅 相続 葬式&墓

丸ごと一冊

老後のお金

すべて解決

2015年相続税改正
年金改正に対応

●A4判/80ページ
●定価700円(税込)
小学館

日外国人の増加」の恩恵を受ける銘柄が大きなテーマとなる」とみる。

観光庁の発表では、14年7～9月期の外国人旅行消費額は前年同期比41・2％増の5505億円だった。

「この消費額が1年間続けば計算上は年間2兆円。さらに円安が進めば14年以上に訪日外国人の人数と消費額の増加が関連企業の業績と株価を押し上げると考えられます」(西堀氏)

ブランド品買い取り・販売大手のコメ兵の株価は、訪日外国人の旺盛な消費を受け、この半年で約2・5倍となった。さらなる上昇も期待できる。

コメ兵とともに、西堀氏

が推すのは日本ビューホテルだ。

「浅草やスカイツリー観光が訪日外国人に大人気となつている追い風を受けて、旗艦の浅草ビューホテルが大幅売り上げ増となつているのに加えて成田ビューホテルも稼働率がアップしている。1年で2倍近くまで株価が上昇することもありえます」

同社は01年の民事再生法申請、その後の債務返済を経て14年7月に東証2部上場。筆頭株主が再生ファンドであるため「市場で売ってくるのでは」という思惑から売り圧力が強く、直近まで株価は下がり続けてきた。ただしすでにPBR

(※)は1倍を割り込んでおり、割安といえる。

株式アナリストの鈴木一之氏が挙げるテーマは「ロボット」だ。

「今の日本は少子高齢化に直面し、人口減少、労働力不足が深刻化しています。人に代わって労働するロボットの需要がますます高まるのは間違いありません。」

さらに、安倍首相が「ロボット五輪の開催を目指す」と発言し、20年までにロボット市場の規模を今の3倍にする方針を打ち出したことが追い風になる。高い技術力を背景に有能なロボットを製作しているメーカーなどは、長期間にわたって恩恵を受けると考えら

れます」

中でも鈴木氏が大きな期待を寄せるのは、介護向け装着型ロボットスーツ「HAL(ハル)」で知られるCYBERDYNEだ。昨年12月には健康医療機器大手のオムロンとロボット事業を含む事業基本合意を発表し市場を沸かせている。

金融情報提供会社「フィスコ」の情報配信部株式アナリストの田代昌之氏は、「今後1年のうちに株価が6倍に上昇する可能性を秘めた銘柄がある」という。

宮入バルブ製作所だ。同社は液化石油ガス(LPG)をはじめとするガス用バルブで培った技術を活用して、低温に強いバルブ

を開発してきた強みを持つ。その技術力を背景にLPGよりはるかに低温な液体水素に対応できるバルブの開発を進めている。

「15年は『水素エネルギー』が本格的にテーマ化し、関連株が大きく飛躍する年になると見込まれます。14年12月、トヨタ自動車が「MIRAI」を発売しました。水素を直接燃やして発電する水素発電所も15年中の稼働を目指しており、値上がり余地は大きい」(田代氏)

好況時には、株投資は稼いだカネの「余剰」を得る手段だったが、国も個人も先行きが細る時代には、自分と家族を守るための必要な生活の知恵なのだ。

※PBR/株価純資産倍率。1株当たりの純資産に対し、株価が何倍まで買われているかを表わした数字。